

公報

○東京府告示乙第百四十三號
當本月十一日ヨリ當分ノ内午前第八時出頭午後第二時退
勤候此旨告示候事
明治十七年九月九日 東京府知事芳川正

賞勳 叙任

○明治十六年六月二十二日
澳地利國皇帝陛下ノ外務大輔兼樞密顧問
ラヂイスロウ、グラント、フオ
ニ、ホ、ス
○明治十七年九月二十五日
澳地利國皇帝陛下ノ宮内卿兼外務卿
コト、キヨロ、ヨス、バ、ダ、ツク

時事 新報

○明治十七年九月八日
大藏權大書記官兼太政官
平田 東助
任一等主稅官 二等主稅官正六位勳五等
中村 元雄
任外務書記官 外務少書記官正五位勳五等
岩倉 具經

昨日上海ノ電報ニ據レバ去ル七日福州閩江ノ白砲臺ヨリ英
國軍艦ヲ砲撃シ英艦ノ傷者四名アリト云フ支那人ノ
愚鈍ナル西洋各國ノ區別ヲ知ラズ其旗章ノ異同ヲモ識別ス
ルノ明ナキカ目下佛人ニ對シテ困難至極ノ其際ニ又英艦ヲ
砲撃シテ新ニ強敵ヲ求メ益其敗滅ノ期ヲ速カニス實ニ愚鈍
無謀ノ甚キモノナレバ我輩ハ其愚ヲ許スルノ段ナラハ既ニ
通り過キテ愛ニ支那人ノシテ聊カ憐ム可キノ情ナキニ非
ズ被レテ甚ク怒ナリ、其愚ハ固ヨリ其人ノ罪ナリト雖モ此愚
民ヲシテ愚シキモノトシテ原因ノ一半ハ西洋人ノ平生ニ在
テ存スト云ハザルヲ得ズ首少シシ冗長ニ屬スレバ我日本國
ノ軍事ヲ記センコト去ル十二月二十二年文久三癸亥年英國ノ
軍艦隊ガ橫濱海ニ闖入シテ我海川政府ニ十萬「ボント」ノ償
金ヲ要求シ向鹿兒島灣ニ向テ二萬五千「ボント」ヲ要求スルト
一時期ノ騷擾ヲ致シタルヲアリ蓋シ其次前年鹿兒島ノ
於テ英國人「リナアルドソン」ガ其行列ヲ横キリタルヲ若
ノ從者ガ之ヲ制止セントシテ殺カズ違フ之ヲ其場ニ切捨テ
ルヨリ起リタル事變ニシテ英國政府ハ罪ヲ日本政府ニ歸シ
兵力以テ金ヲ要メタルヲナリ之ヲ生麥ノ事件ト云フ此談判
年ノ二月ヨリ始リ徳川政府ガ金ヲ與ヘタルハ五月ノ事ニシ
テ其間ニ和議ノ破レタルハ幾回ナルヲ知ル可ラズ日
本ニ取リテハ實ニ大切ナル場合ニシテ朝野共ニ憂カラス思
ハサル者ハ必ク日本政府ニ對シテ今同英國ヨリ償金要求
スル事ハ其意ヲ察シ英ノ方ニ在リテ日本政府ノ由者タルコト
ノ事ハ其意ヲ察シ英ノ方ニ在リテ日本政府ノ由者タルコト

英艦ハ重ニ江戶灣ニ進ミ市街ヲ砲撃シテ灰燼ト爲ス可キハ
無論我國ニ於テモ幸ヒ横濱港ニ軍艦ノ碇泊スルモノアレ
バ英艦隊ニ應シテ佛國ノ旗章ヲ江戶灣ノ海上ニ顯カヘシ
テ由々シキ勦テ示ス可シ云々ノ次第ニテ徳川政府ハ其時海
陸ノ軍備モ今日ノ如クナラズ甚ク手薄ニシテ英艦ノミチ相
手ニシテモ當惑ノ折柄コレニ加シテ佛艦ノ加勢ヲ以テスル
トハ扱々困ルコト哉ト大ニ恐テ抱キタルヲアリ今コシテ考
レバ生麥ノ事件ハ唯日本ト英國トノ事ニシテ固ヨリ佛人ノ
關スル所ニ非ズ然ルニ佛公使ガ唐突ニモ英國ノ申條ニ左袒
シテ然カモ自國ノ軍艦ヲ英艦ニ聯合シテ日本首府ノ海陸ニ
覺レ起ラント云フガ如キハ亂暴無狀ノ甚シキモノコシテ
當時佛國ハ帝政ニシテ三世「ナポレオン」ノ在位中ナリシ
ガ其後ニ至リ内情ヲ聞ケバ佛公使ハ必ズモ本國政府ヨリ
訓令ヲ受ケタルニモ非ズ唯其出張先キヲ取計ヒニテ斯ク日
本政府ニ云ヘバ政府ハ困ルコトナラン、日本政府ノ因却ハ英
政府ノ得意ニシテ在日本ノ同僚英公使モ必ズ満足ナラン即
チ交際ノ方便ナリト萬國公法ナドハ反故同僚ニシテ心頭
ニモ掛ケズ私ノ附合ノヲ國ノ交際ヲ弄ビタルモノナリ
ト云フ今日ナレバ日本人モ既ニ外交ノ事情ニ通ズル場合
ニ臨テ百ノ佛公使アルモ其虛偽ノ驚クヲナシト雖モ文久ノ
昔ノ外情ニ暗キ我國人ノ眼中ニハ唯外國アルノミコシテ英
米佛ノ區別サヘ不分明ナル其際ニ英人ガ日本ニ敵スルト同
時ニ佛人モ亦コレニ加勢ト云ヘバ益西洋各國ノ區分ヲ混
雜シテ一様ニ之ヲ敵トシ同穴孤狸トスルモ決シテ謂レナキ
ニ非ズ獨リ我レヨリ之ヲ同穴孤狸視スルモ非ズ彼レヨリ殊
更ニ同穴ノ觀ヲ示スモノナレバナリ

左レバ今回支那人ガ閩江ニ於テ英艦ヲ砲撃セタルモ其英艦
タルヲ知ラザルニ非ズ或ハ之ヲ知ラサル者アリトスルモ之
ヲ知ル者モ亦アリシナラン既ニ其英艦タルヲ知リ今日ニ限
リテ英人ニ怨アルニモ非ズレバ支那人ノ眼中ニハ唯西洋ノ
同穴孤狸アルノミコシテ又英佛ノ區別アル可ラズ去年來ノ
萬難ハ佛ト清トノ萬難ナレバ支那人全數ノ所見ニテハ西洋
ト大清トノ萬難ニシテ佛ニ敵スルハ即チ西洋ニ敵スルノ所
悟ナルガ故ニ義ニ先シ佛艦ト戰テ敗シテ即チ西洋艦ト戰
テ敗シテ復々復々ニモ亦西洋艦ヲ砲撃スルコト當然ノ次第ナ
リ如何トナレバ多年來西洋各國ハガ支那ニ來リテ軍事ヲ爲ス
ノ狀ヲ見ルニ名ハ英人ト云ヒ又佛人獨人ト稱シテ日常ノ細
事目ニ於テハ其利害ヲ異ニスルガ如クナレバ事ノ大切ニ隨
テハ各國ノ舉動正シク同一轍ニ出テ英ハ佛ヲ助ケ、佛ハ獨
ヲ助ケ、此ノ悅ハザル所ハ彼モ亦不平ヲ鳴ラス等何様ニ之
ヲ觀察スルモ同類ノ人ニシテ同穴利害ヲ共ニスルノ孤狸
ト断定セザルヲ得ズ故ニ今度國體ヨリ佛人排斥ノ大命降ル
ト同時ニ全國ノ人民ハ之ヲ攘夷ノ嚴命ト心得血氣ノ少年ト
ノ勢ニ至リテナラン經學暴動笑フ可キニ似タレバ其外交
ノ平生ヨリ推考シテ人心ノ趨キニ傾向ス可キ勢ヲ察スレバ

佛清事件

○英國軍艦ヲ打拂ム
昨朝上海ヨリ東京ニ或る方ヘ左ノ書
クベテ電報到達シヨリ
九月八日午後八時三十分上海發電報
昨日(七日)福州閩江ノ白砲臺ヨリ英國軍艦ヲ砲撃シテ
英艦四名アリ國旗ノ見聞途ナレバ

此電報の能に依れば去る七日福州閩江の支那砲臺より英國
軍艦を砲撃し英艦四名に負傷せしむたるものなり在東京
英國公使館員の說に目下福州に滞在する英國軍艦は唯セフ
ヒヤ號一艘なるが此軍艦も最早今頃之阿所と立去り居るべ
況苦なるより新く砲撃せられたりといふものなり阿所が實や
同所に滞在しありたるものならんといへり又何故に支那人
が英國軍艦を砲撃したるや其原因更に分らず此電報發信者
は多分英國に國旗を見て佛國の國旗ありと心得夫れ佛國軍
艦が現はれ出たると通がそ打取れとて無法にも發砲し
たるものならんとの考なれども事實果して然るや否や容易
に断定は難し我輩の考ふる所にては支那兵軍兵が英艦
を佛艦と見誤り朋友を敵の船と間違へてツキ發砲し
たるならんといふは餘り支那人を賣渡したる説にて今の支
那兵に軍艦の旗を見分くるなどいふ如き高尙なる知識は
りとは思はれず其有様を云へて今より二十年來我輩州下
ノ間に於テ佛國軍艦ヲ打拂ヒたる時の考と一般船の旗印
などを見分けてツキ大砲の火を發するもどかた後式事

りたる事なき唯唯
此ボツ／＼やらう
を見ざるや好し
那人が操兵兵法
略を講ずること
旗なり米旗あり勝
地に入り漸外十分
けて故れより發砲
くべからず故に兎
方より發砲して中
からずさといふや
戰爭が引引けば中
國より嚴しく談じ
すれば佛人の
るべし

○更一步を進む
遣しる日本メイ
も更一步を進め
九月八日上
福州ヨリ電報
「セフヒヤ」號
支那ノ兵卒ハ羅
(各國人)ニ彼

近頃の外部に據る
セフヒヤ號の先頭
ハ過る福州砲臺
福州より到着した
此れ當時の有様
此の佛國軍艦も
や若し果して然ら
と見れば無暗にナ
次第は英國軍艦
の旗章よりも支那
のしき佛艦も亦
の砲撃の唯支那兵
此れの區別を立て
試みしならん支那
す船あれば皆支那
は愚か我日本の
とならざるを期す
と云ふは、
砲撃の眼中敵とし
る如より、其區別
れも亦他國軍艦
と云ふれば又々